

「地域経済イノベーションサイクル」について

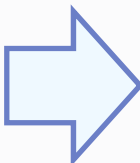
平成25年11月21日

総務省

地域の元気創造プランによる地域活性化

経済財政運営と改革の基本方針

- ・民間投資を喚起する成長戦略を実行し、労働生産性を高め、我が国の潜在成長力を強化する
- ・地域を再生し、全国隅々に成長の成果を行き渡らせていく（第1章2(3)）



地域の再生なくして、日本の再生なし

- ・「地域の元気創造プラン」を通じて、産・学・金・官の連携のもと、民間の資金を活用して、地域のイノベーションサイクルを構築し、雇用の拡大を図るとともに、エネルギー・インフラや公共クラウドなどの地域の基盤整備を進める第2章4(1))
- ・「日本再興戦略」「地域の元気創造プラン」の推進等により、地方税収を増やす。（第3章3(1)）

地域の元気創造プラン

ミッション

〔 まちの元気で
日本を幸せにする！ 〕

ビジョン

- 地域のモノやチエを活かす
- ヒトや投資を呼び込む
- 新しいくらしの土台を創る

アプローチ

- 自治体が産業、大学、地域金融機関、地域住民等と連携して、活性化に取り組む

プロジェクト1 地域経済イノベーションサイクル

- 金融庁との連携
 - ・全国各地で自治体・金融機関向け合同説明会（約2,200名が出席し、うち約760名が金融機関関係者）
 - ・「地域経済循環創造ガイドライン」を策定
 - ・産・学・金・官地域ラウンドテーブルの合同実施
- 中小企業庁との連携
 - ・経済産業大臣とともに、産業競争力強化法案（創業パート）の主務大臣
- 農林水産省等との横串連携
 - ・バイオマスの活用等
- 先行事業実施（67事業）

プロジェクト2 民間活力の土台となる 地域活性化インフラ・プロジェクト

分散型エネルギーインフラ

- ・31団体（10パターン）で予備調査を実施中
- ・平成26年度に電力の小売自由化を踏まえた地域経済循環を創出するためのマスタープランの策定、事業実施体制の構築等を実施

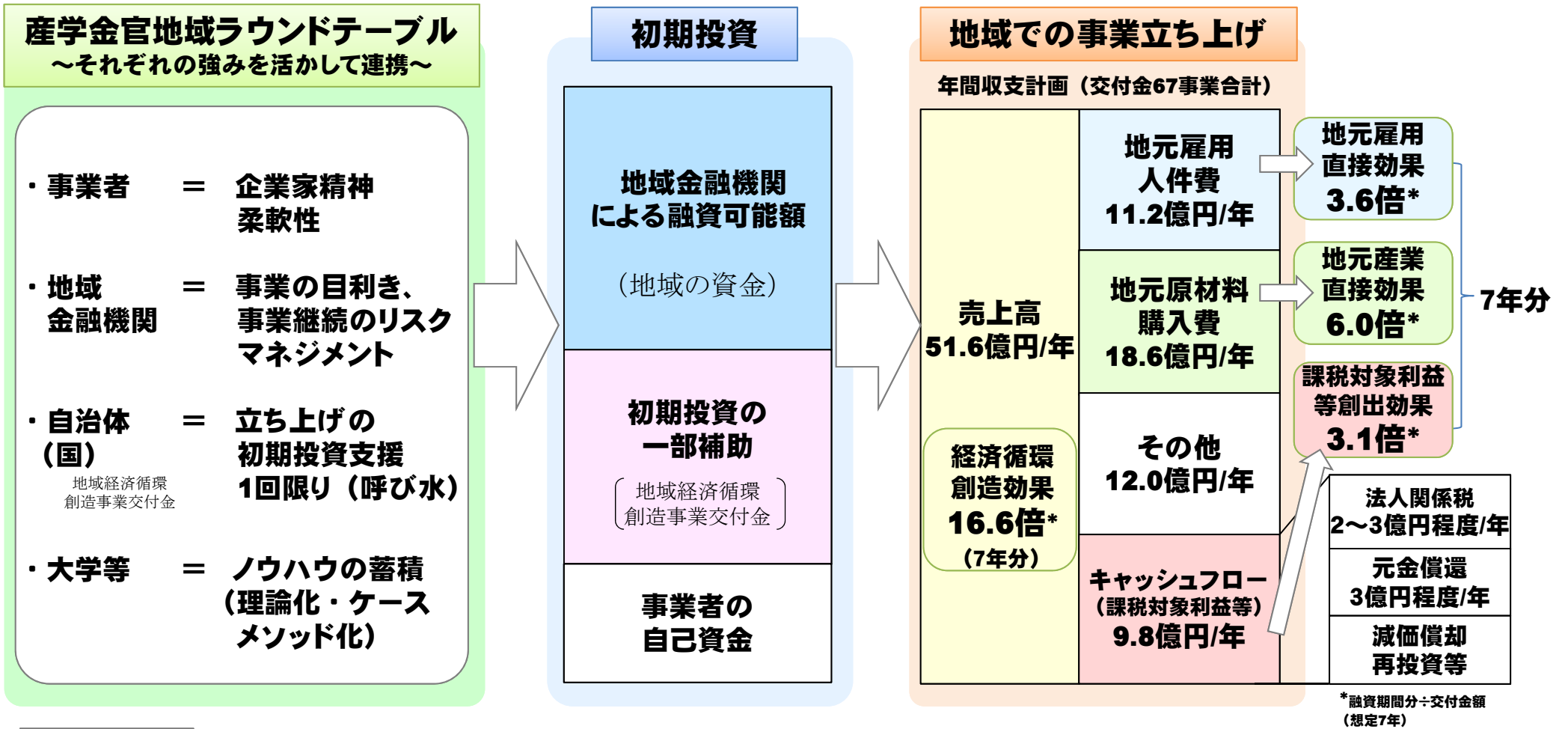
公共クラウド

- ・10団体で観光・生活、介護等の分野における実証実験を実施中
- ・平成26年度に実運用を開始

機能連携広域経営型

- ・プロジェクトモデルを調査・検討中
- ・平成26年度に対象圏域の設定とプランの策定を実施

地域経済イノベーションサイクルの先行モデルにみる施策効果



施策効果

先行モデルにみる効果実証 (地域経済循環創造事業交付金) [H24補正予算 交付決定額21.8億円]

初期投資

- ・ 地域金融機関による融資：23億円
→ 投資効果2.1倍
(交付金額+融資額) ÷ 交付金額

地域課題の解決

- ・ 廃棄物等の商品化
- ・ 一次産品等高付加価値化
- ・ 地元資源活用にぎわい創出
- ・ 流出資金域内還元

先行モデルの主な事例

先行モデルの67事業のうち約8割(53事業)が、農林水産業関連の事業であり、地域での創業においては、農林水産業と自治体の連携が不可欠。

○徳島県 「阿波尾鶏」を活用した畜産と農業の地域資源循環の創造

- ・事業主体: オンダン農業協同組合(海陽町)
 - ・交付予定額: 5,000万円
 - ・金融機関: 阿波銀行
 - ・融資喚起見込額: 6,500万円
- (地域課題)

- ・輸入飼料(トウモロコシ)を使った養鶏
- ・鶏糞の未利用
- ・利益率圧迫

(事業化)

- ・鶏糞をブランド有機肥料化
- ・有機肥料を活用した高品質の野菜と米の商品化
- ・輸入飼料を地元高品質米に置換

(公益的效果)

- ・ブランド有機肥料と高品質野菜等で販売力増強
- ・輸入飼料の地場産化(飼料米等)
- ・雇用増(有機肥料、飼料の製造)



<事業計画>

売上高 7,810万円	原材料費	循環工サ代 4,380万円	= 地域資源
阿波尾鶏 成鳥販売・ 有機肥料販売		人件費 820万円	= 地元雇用創出
		その他(薬材料等) 1,350万円	= 域外からの購入
※有機肥料により栽培した野菜・米等への拡張も別途想定される			1,260万円 = 税負担+返済原資

○北海道芦別市 (チップ製造事業)

- ・事業主体: 芦別木質バイオマス開発協同組合
 - ・交付予定額: 3,300万円
 - ・金融機関: 北洋銀行
 - ・融資喚起見込額: 3,000万円
- (地域課題)

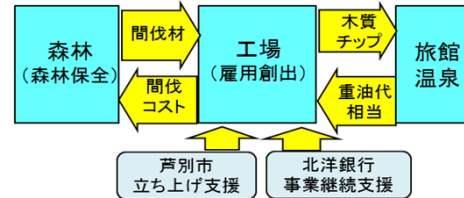
- ・温泉、温水プール等の燃料コストの増(重油)
- ・間伐コストの負担増

(事業化)

- ・間伐材のチップ化
- ・チップボイラーの導入(重油を木質チップに転換)

(公益的效果)

- ・間伐コストの確保(チップ代収入)
- ・燃料コストの抑制
- ・雇用増(チップ工場等)



<事業計画>

売上高 3,300万円	原材料費	間伐材等(運搬費) 1,080万円	= 地域資源
木質チップ販売		人件費 1,540万円	= 地元雇用創出
			680万円 = 税負担+返済原資

○青森県青森市 (ナマコ加工廃棄物を加工した地域経済活性化)

- ・事業主体: 株式会社大豊
 - ・交付予定額: 5,000万円
 - ・金融機関: 青森銀行
 - ・融資喚起見込額: 2,500万円
- (地域課題)

- ・中国輸出向け乾燥ナマコの加工工程で排出される廃棄物(内臓、煮汁)の処分

(事業化)

- ・ナマコ加工廃棄物から機能性成分を抽出し、高付加価値化(化粧品等に活用)

(公益的效果)

- ・ナマコ加工廃棄物の処分コストの減
- ・ナマコ成分商品の低コスト化による販売促進
- ・雇用増(加工場)



<事業計画>

売上高 5,000万円	原材料費	ナマコ成分抽出吸着剤 1,120万円	= 地域資源
ナマコ成分を利用した機能性靴下の販売		人件費 2,000万円	= 地元雇用創出
※石鹸や化粧品への拡張も別途想定される			100万円 = 域外からの購入
			1,780万円 = 税負担+返済原資